

第2回告知文書 2010年 1月 26日

1 確定大会プログラム

日本国際観光学会

第12回全国大会

開催日 2010年6月12日(土)・13日(日)

開催地 北海道千歳市

会場 千歳市民文化センター

主催 日本国際観光学会

大会運営 第12回全国大会実行委員会

後援 国土交通省北海道運輸局

北海道

千歳市

日本政府観光局(国際観光振興機構)

株式会社 旅行新聞新社

*後援機関は予定を含みます

協力 財団法人 国際観光サービスセンター

北海道中央南部観光交流会

支笏湖温泉旅館組合

北海道のインバウンドを考える会

株式会社 山三ふじやグループ

株式会社 北海道箱根牧場

ノーザンホースパーク

株式会社 ノーススタートラベル

関係団体・企業など多数

*協力機関は予定を含みます

大会実行委員会

第12回全国大会実行委員会委員長 越塚 宗孝

森 雅人 香川 眞 須古 正恒 鈴木 勝 若月 博延

榊原 潤 小島 英人 佐々木 智秀

開催地事務局 社団法人 千歳観光連盟 観光事業部

〒066-0062 千歳市千代田町6-20 第12ふじやビル

電話 0123-24-8818

日本国際観光学会では、今回の千歳大会が、金沢大会に続き地方で開催する 2 回目の全国大会となります。今、世界、日本の観光を取り巻く環境は厳しく、新たな知見が求められています。本大会のテーマはこうした状況に鑑み、下記の通りとしました。

大会テーマ 「変貌する経済状況と観光:打開の道、地方への提言は?」

Seek the key to mitigate the negative impact of the economic situation on tourism

平成 21 年度「年次経済財政報告」(内閣府)は危機の克服と持続的回復への展望と題し、2008 年秋以降の金融危機の深刻化、世界同時不況の進行を伝えました。同報告にみられるようなマイナスインパクトは国際、国内観光に諸影響を及ぼし、観光客、観光事業の動きにもより注視しなければならない状況が生まれています。地域の観光事業の担い手である公的、民間セクターはこの危機に既に対処しているものの、今後のわが国の観光の回復のためには様々な打開策の提示が必要となります。本大会では多方面からの前向きな知見を集約したいと考えています。

日本国際観光学会会長

香川 眞

北海道観光の要の一つである新千歳空港では新たな国際線ターミナルが建設され、次のステージの幕が開きました。しかし、こうした基盤整備の一方、航空会社、地方空港の諸状況にはマイナスの側面がみられます。例えば、国際定期便の運休、国際線チャーター便の減少、不採算路線からの撤退、地方空港の維持管理問題等が露呈しており、国際、国内観光面には向かい風となっています。厳しい経済環境の下で、官民連携した模索が続いていますが、本大会で多くの提言がなされることを期待します。

第 12 回全国大会実行委員会委員長

越塚 宗孝

大会テーマ

「変貌する経済状況と観光:打開の道、地方への提言は?」

Seek the key to mitigate the negative impact of the economic situation on tourism

6月12日(土) 特別講演・研究発表・特別プレゼンテーション

会場 千歳市民文化センター

〒066-0036 千歳市北栄2丁目2番地11号

TEL 0123-26-1151 fax 0123-26-1152



受付開始	10:00	
歓迎挨拶	10:20	歓迎挨拶 山口 幸太郎(千歳市長)
会長スピーチ	10:30	「新たな観光の視座」 香川 眞(日本国際観光学会会長)
特別講演	11:00	「観光の危機:打開の道は」 原 祥隆(国際観光サービスセンター専務理事)
昼食	12:00	各自
研究発表	13:00～	
特別プレゼンテーション		
第1会場	3階視聴覚室(75名)	
	①	13:00～13:30
	②	13:40～14:10
	③	14:20～14:50

④ 15:00～15:30

⑤ 15:40～16:10

⑥ 16:20～16:50

⑦ 17:00～17:30

第2会場 3階中会議室1(54名)

① 13:00～13:30

② 13:40～14:10

③ 14:20～14:50

④ 15:00～15:30

⑤ 15:40～16:10

⑥ 16:20～16:50

⑦ 17:00～17:30

第3会場 3回中会議室2(72名)

① 13:00～13:30

② 13:40～14:10

③ 14:20～14:50

④ 15:00～15:30

⑤ 15:40～16:10

⑥ 16:20～16:50

⑦ 17:00～17:30

第4会場 4階小会議室1(48名)

① 13:00～13:30

② 13:40～14:10

③ 14:20～14:50

④ 15:00～15:30

⑤ 15:40～16:10

⑥ 16:20～16:50

⑦ 17:00～17:30

第5会場 4階小会議室2(36名)

① 13:00～13:30

② 13:40～14:10

③ 14:20～14:50

④ 15:00～15:30

⑤ 15:40～16:10

⑥ 16:20～16:50

⑦ 17:00～17:30

懇親会 18:00 ANA クラウンプラザホテル千歳
実行委員長挨拶 越塚 宗孝(日本国際観光学会理事)
歓迎の言葉 瀧澤 順久(社団法人千歳観光連盟/北海道中央南部観光交流会会長)
祝杯
次回開催地挨拶
への発声 安川 文夫(国土交通省東京航空局新千歳空港事務所 空港長)
19:30 閉会

6月13日(日)

視察会

テーマ 「すぐそこにある北海道らしさ」

千歳市およびその近郊地域には北海道らしさを感じることができる農村景観があります。特に、千歳市泉郷地区は多くの観光農園があり、夏のいちご狩り、ハスカップ狩りで賑わいをみせます。また、隣の長沼町は構造改革特区指定以降、多くの農家が農業体験、ファームイン、レストラン事業に参加し、全国の修学旅行生に教育の場を提供しています。本視察会ではこうした地域をご案内いたします。

ガイド 千歳観光連盟スタッフ

視察ルート

9:30 ANA クラウンプラザホテル千歳 出発
千歳市中央 みなみ農園 訪問
千歳市泉郷地区 観光農園地帯
長沼町 道の駅「マオイの丘」
ファームイン たんぼぼ
11:00 安平町
社台スタリオンステーション・グリーンカフェ
12:00 苫小牧市
昼食 ノーザンホースパーク
13:30 新千歳空港 到着

※視察会にご参加の方は 15:00 以降の出発便をご予約ください。

2 大会参加要領

参加される方は別紙参加登録票様式 1 を下記宛てに送信してください。

koshi26@amber.plala.or.jp

登録期間は学会ホームページで告知の日から **3月15日**まで

研究発表登録期間も上記に同じです。

3 研究発表要領

研究発表登録いただいた方には随時登録確認メールを送信します。

研究発表論文集掲載レジメは別紙様式 2 にて下記宛てに送信してください。

koshi26@amber.plala.or.jp

レジメ受付期間は学会ホームページで告知の日から **5月1日**まで

4 大会参加費 *当日受付にてお支払いください

大会参加者費

8,000 円(登録費・研究発表論文集費・懇親会費が含まれています)

学生大会参加費 *学生証保持者

4,000 円(登録費・研究発表論文集費・懇親会費が含まれています)

視察会費

2,000 円(車両費・昼食費が含まれています)

*なお、天候など自然条件により視察ルートの変更、中止が想定されます。